

## 保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和5年5月5日

アンケート期間: 令和5年2月1日～令和5年2月28日

事業所名 S.I.C.KIDS尾張旭校

保護者等数(児童数)25名(26名) 回収数 23名 割合 92%

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	23	0	0	0		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	23	0	0	0		
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	18	3	4	0	2階へ上がる時の階段が少し怖いです。	建物の構造上、それを変えることは厳しいですが、十分に配慮しております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	23	0	0	0		
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	23	0	0	0		
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	20	1	0	2	支援の様子を見学することができないので、どこまでできているかはわかりませんが、子供は満足しています。	支援後に本日の支援内容や様子を報告させていただきます。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	21	1	0	1		更新の際や支援前には必ず職員間で共有し、それに伴い支援を提供しております。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	22	0	0	1		支援前に担当職員が必ず前回の支援を確認してから、プログラムを立案しております。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	7	11	2		現在は行っておりません。今後必要に応じてできるよう検討いたします。
保護者 への 説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	23	0	0	0		
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	23	0	0	0		
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	13	1	1	8	初めて聞いたので、わかりません。	今後実施していく予定です。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	23	0	0	0		
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	23	0	0	0		個々で面談させていただいております。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	10	6	3	保護者会というものがあるとは知りませんでした。	今後開催できるよう、職員間で相談して検討しております。

	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	21	1	0	1	ご希望される方には、個々での面談をさせていただいております。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	23	0	0	0	
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	21	1	0	1	Instagram等で活動の様子や施設内の様子をお伝えしております。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	23	0	0	0	
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	23	0	0	0	
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	23	0	0	0	
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	23	0	0	0	
	23	事業所の支援に満足しているか	23	0	0	0	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

## 保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表：令和5年5月5日

アンケート期間：令和5年2月1日～令和5年2月28日

事業所名 S.I.C.KIDS尾張旭校

保護者等数(児童数)42名(44名) 回収数 39名 割合 93%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	39	0	0	0		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	39	0	0	0		
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	32	4	1	2	2階へ上がる際の、階段が少し不安です。	建物の構造上、それを变えることは難しいですが、十分に注意しております。
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	40	0	0	4		更新の際や支援前には必ず職員間で共有し、それに伴い支援を提供しております。
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	40	0	0	4		支援前に担当職員が必ず前回の支援を確認してから、プログラムを立案しております。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	13	18	5	3	そのような機会を始めてから経験したことはありません。	現在は実施できていませんが、交流ができるような機会を作れるよう、検討しております。
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	24	0	0	0		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	24	0	0	0		
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	24	0	0	0		
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	10	3	6	そもそもそのような機会があること知らなかった。	現在は実施できていませんが、そのような機会を作れるよう、検討しております。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	33	1	0	4		苦情・要望に対するマニュアルに沿って対応いたします。LINEやお電話での対応が可能になります。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	39	0	0	0		
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	39	0	0	0		
14 個人情報に十分注意しているか	39	0	0	0			
非常時等の対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	39	0	0	0		
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	39	0	0	0		
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	39	0	0	0	毎日「S.I.C.KIDS」と言っています。とても楽しみにしております。	ありがとうございます。今後もご期待に応えられるよう環境を整えていきます。
	18 事業所の支援に満足しているか	39	0	0	0		

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

## 事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和5年3月14日

公表: 令和5年5月5日

事業所名 S.I.C.KIDS尾張旭校

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		十分なスペースを確保できています。	
	2 職員の配置数は適切である	○		基準を満たしております。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている		○		1階は完全バリアフリーですが、2階に上がるときに階段があるため、指導員が付き添ったり、手をつなぐような工夫をしております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			評価表の情報を職員間で共有して、今後の改善点について話し合いをしています。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	-	-	-	-
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		定期的に研修会をしております。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		保護者様からお話を聞いたうえで、日頃の利用者様の様子を含め、作成しております。	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		個別支援計画書に沿って支援に取り組んでおります。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		個別支援計画書に沿って支援に取り組んでおります。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		情報共有をして、立案しております。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		情報共有をして、前回どのような支援をしたのか、繋ぎのある支援を提供しております。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		日頃から利用者様の様子を見て、作成しております。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		支援前には必ず確認して、支援に取り組んでおります。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終業前にミーティングを行い、職員間で情報共有をしております。	
19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		情報共有をして、日々支援内容について改善できるよう取り組ませていただいております。		

20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○	定期的に会議を行い、決めてお ります。	
----	---------------------------------------	---	------------------------	--

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している		○		今のところ参加したことはございません。お声掛けいただければ積極的に参加させていただきたいと考えております。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○				
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	-	-	_____	_____	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	-	-	_____	_____	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			関係機関と情報共有をして、よりよい支援を行うために取り組んでおります。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			関係機関と情報共有をして、よりよい支援を行うために取り組んでおります。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			尾張旭市が実施している、他機関との交流会に参加しております。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○			現在はそのような機会を作ることをできてはませんが、今後実施できるよう検討しております。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			尾張旭市が実施している、他機関との交流会に参加しております。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			日頃から情報共有をしております。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○			現在はそのような機会を作ることをできてはませんが、今後実施できるよう検討しております。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○				
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○				
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			個々でお悩み相談や、面談を実施しております。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○			現在はそのような機会を作ることをできてはませんが、今後実施できるよう検討しております。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○				
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			LINEを通じて、発信しております。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○				
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○				
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○			現在はそのような機会はありませんが、今後実施できるよう検討しております。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		6カ月に1回避難訓練を実施しております。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		利用者情報を把握して、支援に取り組ませていただいております。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	-	-	_____	_____
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		職員間で会議を行い、情報共有をしております。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		6カ月に1回会議、研修を行っております。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。



## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和5年3月14日

公表: 令和5年5月5日

事業所名 S.I.C.KIDS尾張旭校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		十分なスペースを確保できています。	
	2	職員の配置数は適切である	○		基準の配置を満たしております。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		1階は完全バリアフリーですが、2階に上がるときにどうしても階段があるため、指導員が付き添ったり、手をつなぐような工夫しております。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			評価表の情報を職員間で共有して、今後の改善点について話し合いをしていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	—	—	—	—
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		定期的に研修会をしております。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		保護者様からお話を聞いたうえで、日頃の利用者様の様子を含め、作成しております。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		情報共有をして、立案しております。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		情報共有をして、前回どのような支援をしたのか、繋ぎのある支援を提供しております。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		支援前には必ず確認して、支援に取り組んでおります。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終業前にミーティングを行い、職員間で情報共有をしております。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		情報共有をして、日々支援内容について改善できるよう取り組ませていただいております。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的に会議を行い、決めております。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している		○		今のところ参加したことはございません。お声掛けいただければ積極的に参加させていただきますと考えております。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		関係機関と情報共有をして、よりよい支援を行うために取り組んでおります。		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	-	-	_____	_____	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		関係機関と情報共有をして、よりよい支援を行うために取り組んでおります。		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	-	-	_____	_____	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○			情報共有や挨拶は毎月行っております。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○			現在はそのような機会を作ることをできてはいませんが、今後実施できるよう検討しております。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		尾張旭市が主催している、協議会には積極的に参加しております。		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		日頃から情報共有をしております。		
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○			現在はそのような機会を作ることをできてはいませんが、今後実施できるよう検討しております。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		個々でお悩み相談や、面談を実施しております。		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○			現在はそのような機会を作ることをできてはいませんが、今後実施できるよう検討しております。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○				
	35	個人情報に十分注意している	○				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○			現在はそのような機会はありませんが、今後実施できるよう検討しております。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		6カ月に1回避難訓練を実施しております。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		6カ月に1回会議、研修を行っております。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	-	-	—————	—————
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		利用者情報を把握して、支援に取り組ませていただいております。	